

# 日本臨床泌尿器科医会会報

日本臨床泌尿器科医会のURL

<http://www.uro-ikai.jp>

第 51 号

## 巻 頭 言

日本臨床泌尿器科医会 会長 宮崎 良春

明けましておめでとうございます。

平成29年の新年を迎え、今年が会員の皆様にとっていい年になります様、祈念致します。

御承知のように、今年は米国大統領がオバマ氏よりトランプ氏への交代を始め、又フランス、ドイツなどの選挙、一方中国、ロシアなどの台頭もあり新しい世界秩序がどのように変わるのか、日本にとっていい方向に行くのか、国民すべてが不安と共に注視している状況です。

日本医師会は横倉義武会長が3選され、又10月より世界医師会会長にも就任することですので、当面政治的には存在感を示してくれるのではないかと期待しています。消費税の10%増税は来年秋までの延期になり、その時まで損税の解消を待たなければならぬのか、いろいろの課題をかかえています、きちんと対応してくれるものと考えています。

来年4月の診療報酬、介護報酬の同時改定に向けて中医協での議論が始まっております。本会より日医診療報酬検討委員会には正井基之先生、外保連には斎藤忠則先生、内保連には増田光伸先生をそれぞれ委員として参加してもらっていますので、臨床泌尿器科の主張や要望などに、関与していただいと期待しています。

さて、来る4月23日(日)第20回日本臨床泌尿器科医会総会が鹿児島市城山ホテルで開催されます。振り返ってみますと、第1回総会が同地であり、前川初代会長の下で、私も副議長として参加したことを昨日のように思い出します。今回の記念講演は前世界泌尿器科学会理事長、内藤誠二先生に「SIUと私」という演題で話してもらう予定です。知らないことばかりなので詳しく話が聞けるものとお楽しみにしております。多数のご出席をお願いいたします。

同時に、第105回日本泌尿器科学会総会も4月21日(金)～4月24日(月)開催され、①シンポジウム「地域包括ケアシステムにおける泌尿器科医の役割」(座長 清原久和副会長と中祐二氏)②「オフィスウロロジーの成功の秘訣とライフプラン」(座長増田光伸常務

理事、黒田英也先生)の講演として行われます。又、例年の如く、斎藤保険委員長による保険教育プログラムも予定されています。

11月19日、東京丸の内ホテルで日本臨床内科医会／日本臨床泌尿器科医会・合同座談会を行いました。「診々連携でみる女性の過活動膀胱」の演題で、内科より望月紘一副会長、菅原正弘常任理事、2名、泌尿器科より私、岩澤晶彦専務理事、本間之夫理事、3名、婦人科より1名が参加し、討論を行っております。その内容は、内科医会は会報として会員に配布されることですが、日本臨床泌尿器科医会会員も同時に送付する予定ですので、ご覧いただきたいと思っております。

11月24日～27日まで、山口県下関市で第68回西日本泌尿器科学会総会が開催され、教育セミナー「オフィス・ウロロジーを考える」という演題で講演し、その後、指導医保険教育コースである座長を勤めさせていただきました。講師である赤枝輝明先生に感謝いたします。又、東部総会の斎藤忠則先生、中部総会の北村浩二先生にもこの場を借りてお礼申し上げます。

最後になりますが、先述のように今年は創立20年の伏目の年にあたります。来る6月3日(土)16:30東京明治記念館で創立20周年記念式典・講演会を予定しております。

皆様方に、案内状を同封いたしますので、是非、出席していただきたく、心よりお願い申し上げます。

本年も、色々とお世話になりますがよろしくご指導ご鞭撻お願い申し上げます、新年のご挨拶とします。

# 設立20周年を迎えて

## —改めて振り返る日臨泌の歴史と今後の展開—

日本臨床泌尿器科医会 副会長 清原 久和

今年、日本臨床泌尿器科医会(以下日臨泌と略します)は設立20周年を迎えます。そこでHPの「日本臨床泌尿器科医会の歴史と理念について」の内容と重複しますが、再度設立時の経緯と今までの歴史を振り返り日臨泌“成人式後”の今後の作業目標の展開について少し述べたいと思います。

1980年前後ごろより、全国各地に日本泌尿器科学会(以下日泌と略します)の集まりとは別に、地域の医会の母体となる泌尿器科医の勉強会、症例検討会、親睦のための集まりができました。現在では全国の都道府県に約20の泌尿器科医会があり、それぞれの地域でそれなりの役割を持ち現在まで活動しておられます。その中には日臨泌の支部のみ、あるいは地域の医会と日臨泌支部が併存している都道府県もあります。1984年10月、健康保険本人が医療を受けたとき医療費が0割から1割負担、さらに1997年9月には2割負担(現在は3割負担)となり、世間一般の保険診療に対する厳しい眼が出てきました。医療従事者が保険診療に眼を向けざるを得なくなった要因になったと思われます。このような気運の中で親睦、勉強会を目的とした地域医会とは別に泌尿器科保険診療の改革、保険点数改定要望のため、1998年4月11日の鹿児島での日泌総会で全国の大学教授、一般病院、開業医の先生方、保険診療に詳しい全国社保国保の審査委員の先生を中心に全国組織である日臨泌が設立されました。その当時、地域医会では大阪臨床泌尿器科医会が最も歴史があり1997年8月には既に20周年を迎えており会員数も約500名を超えていたので、日臨泌設立時は大阪泌尿器科臨床医会会員が多数を占めておりました。当時の大阪泌尿器科臨床医会会長であった前川正信大阪市大教授が会長を退かれ日臨泌会長に、大阪府堺市児玉泌尿器科の児玉正道先生が専務理事、御子息の児玉光正先生が事務局長に就任されることになりました。また理事の約7割が社会保険の審査委員、あるいは経験者でありました。2000年ごろ当時の東大教授で泌尿器科学会理事長であった阿曾先生が、診療報酬改定に重要な役割を担っていた日本医師会の社会保険診療報酬検討委員会に泌尿器科医が入っていないことに気付かれて、東京社保の審査委員をされていた昭和大教授吉田英機先生を指名され委員に送られました。この頃より日泌でも泌尿器科診療に対する正当な評価を求めて学問、研究、教育をする学会と並行して泌尿器科医の保険診療での正当な報酬と、社会的地位の確立を求める必要があるという気運が出てきたようです。日臨泌設立当初は泌尿器科保険診療の充実、診療報酬改定のための活動が主であり、特別講演として当時の植松治雄日本医師会会長はじめ日

医幹部の方々にお話を伺う機会がありました。その後当時の児玉光正事務局長が、学会とは一味違う泌尿器科日常診療の問題点を本音で話し合う「臨床検討会」を始められました。初回は大阪中之島の国際会議場で「性感染症」について、札幌医大の熊本悦明先生をコメンテーターにお呼びして臨床現場での問題点について熱心な話し合いがなされまして、現在まで12回の臨床検討会が開催されています。また全国の社保国保審査委員が日泌総会時に手弁当で開催していた会議を、1999年大阪で近畿大学の栗田孝教授が開催された日泌総会時より日臨泌が主催することになったことにも児玉光正事務局長が尽力されました。このときの司会は社保審査委員2年目の私が務めました。初代前川正信会長が体調を崩され、2007年4月から吉田英機先生が第2代会長に就任されました。吉田先生はその当時東京都社会保険診療報酬支払基金の二百数十人の全科の審査委員を束ねる委員長であり厚労省保険局と強い繋がりを持っておられ、中医協の諮問機関で全診療科の手術点数の新設改定に関わる医療技術評価分科会の初代会長に就任しておられました。吉田会長のお陰で保険点数を決定する中枢におられる厚労省保険局の歴代の医療課長級の方々をお招きしてお話を聞くと同時に泌尿器科医の要望を伝えるロビー活動をすることができました。吉田会長は手術に関する診療報酬の点数設定について、従来への慣習にとらわれず、全ての外科系診療科が公正な評価を受けることに尽力されました。そのため従来低い思われた泌尿器科の手術点数が上がりました。2004年、大阪で開催された日本医学会総会では副会長であった私と当時の宮崎専務理事で企画した、日臨泌と大阪泌尿器科臨床医会主催のシンポジウム「高齢者の排尿管理」に当時の保険局医療課長(後の医政局長)をお呼びして開催することができました。日本医学会総会に応募された三分の一の演題が不採用となり、日泌からも一題も採用されなかったことを考えると、この演題が採用されたことは泌尿器科診療が医学界の中でやっと一般診療科として認知された思いでした。演題採用にはその当時の日泌理事長の奥山明彦阪大名誉教授のご尽力、厚労省からシンポジストをお呼びできたのは吉田英機先生の厚労省保険局との強い繋がりがあったためと考えます。かつて泌尿器科医の大半は大学を含む勤務医でしめられていましたが泌尿器科単独での開業医も増加しており高齢化社会に向けて排尿、男性学の問題に取り組む社会的ニーズが出てきました。今後は手術点数だけでなく泌尿器科の日常内科的診療についての保険診療に目を向けていく必要があると考えます。日泌のオフィスウロロジー部会の主要メンバーは日臨泌の役員であり、昨年日泌の藤澤理事長のご英断で内保連に加入でき、内保連委員に日臨泌の増田常務理事が参加しておられます。

以上の流れから日臨泌が目指してきたものは日常の一般泌尿器科診療の質と社会的評価の向上、保険診療の充実と経済的社会的基盤の強化、充実であることが少しお分かりいただけたでしょうか。その後常務理事の秋山喜久夫先生が事務局長になられ事務局の改革をされました。名簿、会費の一元管理、各理事へのメール配信、HPの充実、各種イベントの開催についてバックアップしていただいている会社とともに尽力していただ

いております。2014年4月、前福岡市医師会長で日本医師会横倉会長と昵懇の宮崎良春先生が第3代会長に選出されました。医会活動は医療活動、社会活動も視野に入れることが必要で、学術、保険、医療安全、総務部など事業部制を開始いたしましたはまだまだ十分に機能しているとはいえません。今後は全国の医会、医会支部、医師会の分科会との関係も密にして日常の活動が全国的な活動となればと考えます。現在29名の理事については東大教授本間先生、日本医師会常務理事で中医協委員の松本先生以外はほとんどが都道府県医会の役員あるいは診療報酬の審査委員で組織化できる素地は充分にあります。組織の行動力、財源のため会員2000人以上が当面の目標で、その後社団法人化し泌尿器科診療、特に在宅医療に貢献する展開ができればと願っております。

## 日本泌尿器科学会での オフィスウロロジーの話題

医療法人札幌会 岩澤クリニック 岩澤 晶彦  
日本臨床泌尿器科医会 専務理事

オフィスウロロジーの役割は、超高齢社会を迎え、排尿管理を中心としてその重要性が益々高めてきています。また、最近の日本泌尿器科学会のシンポジウムやワークショップなどで、オフィスウロロジーの演題が数多く見られる様になりました。オフィスウロロジーは地域社会では以前から重要視されていましたが、ここ数年は学会の中でも注目されてきています。このことは宮崎良春会長をはじめ、増田光伸オフィスウロロジー部会長並びに各会員の今までの努力の賜物であり、また各学会長のオフィスウロロジーに対するご理解の結果とこの場をお借りして感謝申し上げます。

そこで、私が昨年出席した三つの泌尿器科学会でのオフィスウロロジーの話題を紹介致します。2016年4月23日より仙台で開催されました第104回日本泌尿器科学会総会(荒井陽一会長)では、The Power of Partnershipで四つのオフィスウロロジーの企画がありました。その一つのパネルディスカッションでは「ここを工夫すれば突破できる、泌尿器科診療と地域連携」が行われました。在宅訪問診療を含めた地域連携の取り組みや、総合病院における地域連携パス、都市部の地域連携、大学病院としての地域連携の発表があり、オフィスウロロジーの地域連携の重要性を再認識させられるものとなりました。

その他に三つのシンポジウムがありました。「泌尿器科医の在宅診療:カテーテル交換から在宅緩和ケアまで」では、今後さらにニーズの高くなっている在宅医療について、現場の生の声を聞くことができました。「開業しながら続ける臨床研究」では開業しても臨床研究を行い、患者のために勢力的に臨床を行っている先生方のお話を伺いました。さらに「プロフェッショナルに訊く、オフィスウロロジーに要求される臨床力と経営力」では、成功するオフィスウロロジーには臨床力のみならず経営力の重要性が問われるという内容でした。

2016年10月7日より青森で開催されました第81回日本泌尿器科学会東部総会(大山力会長)では、ワークショップで「時代に応えるオフィスウロロジーのすすめ」が行われました。その中で、排尿ケアと地域連携での“QOLのかかりつけ医”としてのオフィスウロロジーの役割や、泌尿器科在宅医療の重要性、泌尿器科外科としてのBPHの日帰り手術の実際、さらに泌尿器科内科で多く見られる尿道炎の臨床研究についての講演がありました。

2016年11月24日から下関で開催されました第68回西日本泌尿器科学会総会(松山

豪泰会長)では宮崎良春会長が教育講演で「オフィスウロロジーを考える」の大きなタイトルで発表されました。医院を開業するにあたり、事業計画や開業資金、場所の設定から広報まで、きめ細かく具体的に説明され、これから開業する先生にとって大変参考になったと思います。また、オフィスウロロジーにとってかかりつけ医を含めた近隣医療機関や基幹病院との連携、医師会とのコミュニケーション能力の必要性を強調され、各論から総論に至るまで充実した内容でした。なお、山口秋人先生が座長をなされ、日臨泌の会長と副会長の息の会った教育講演となりました。

イブニングセミナーでは横山光彦先生が「病診連携におけるオフィスウロロジーのはたす役割」で発表されました。先生は開業してまだ3年目ですが、臨床経験が豊富で、着実に患者数を増やしておられます。先生の人柄もあり、かかりつけ医や病院との連携をきちんとなさっておられ、患者一人一人を大切に診ていらっしゃいます。講演では、具体的な症例を数多く提示され、臨床に即した発表は大変参考になりました。

以上のように、オフィスウロロジーの各講演の内容は大変充実しており、最近ではとくに地域連携と在宅医療の重要性を指摘されてきています。日臨泌はこうした状況に対して、専門性の高いオフィスウロロジーの地位の更なる向上のために努力を重ねてまいります。今後は会員の皆様のご協力のもとオフィスウロロジー部門の一人として会務を遂行してまいりますので、宜しくお願ひ申し上げ、ご報告とさせていただきます。

## 内科系学会社会保険連合(内保連)について

増田泌尿器科 増田 光伸  
日本臨床泌尿器科医会 常務理事

2年に一回行われる診療報酬の改訂に際し、各学会からの要望事項は内科系学会社会保険連合(内保連)、外科系学会社会保険連合(外保連)、看護系学会保険連合(看保連)、日本医師会診療報酬検討委員会などを通して厚生労働省に提出されます。外保連は手術・処置・生体検査・麻酔などの要望事項を取り扱い、それ以外は内保連が担当しています。泌尿器科学会は、今までは外保連に加盟しており手術点数などの診療報酬の要望事項は外保連を通して行ってきました。しかしPSAを始めとする検体検査に関連する事項や在宅医療に関しては、会員からの要望を受け入れる術がありませんでした。このような背景から泌尿器科学会は、2016年4月に内保連に新規加盟を致しました。内保連の代表は、日本医大の近藤幸尋教授と小生が務めさせて頂くことになりました。

内保連は130学会から構成されている大きな組織で、3つの「横断的課題に関する委員会」と23の「診療領域別委員会」から構成されています。各学会は4つの委員会に委員を選出することが出来ます。泌尿器科は、「検査関連委員会」にみはま病院院長 正井基之先生(千葉県)、「悪性腫瘍関連委員会」に川口市立医療センター副院長 賀屋仁先生(埼玉県)、「在宅医療関連委員会」に深澤りつクリニック院長 深澤立先生(神奈川県)、「感染症関連委員会」に増田泌尿器科院長 増田光伸(神奈川県)が委員となっております。これら委員の推薦は日本臨床泌尿器科医会で決めさせて頂き、泌尿器科学会を通じて内保連に提出させて頂きました。

昨年の9月7日に日本泌尿器科学会保険委員会拡大常任委員会があり、「平成30年度保険改訂に向けての要望項目の選定」が行われました。この会議で会員から寄せられた要望項目の選定と外保連或いは内保連への振り分け作業を行いました。11月21日に最終的な要望項目の選定と順位付けが行われ、泌尿器科学会からは一次評価提案書として3件の未収載と6件の医学管理料を内保連に提出しました。これから7月にある厚生労働省ヒアリングまで長丁場ですが、少しでも泌尿器科学会会員の皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

## 事務局長から

事務局長 秋山 喜久夫

新年明けましておめでとうございます。昨年は日本臨床泌尿器科医会の運営に種々ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

- ① 第81回日本泌尿器科学会東部総会(青森)では、斎藤忠則常務理事、第66回日本泌尿器科学会中部総会(三重)では、清原久和副会長、北村浩二理事、第68回西日本泌尿器科学会総会(山口県)では、宮崎良春会長、赤枝輝明理事に「知って得する泌尿器科保険診療の基礎的知識」をご担当いただきました。担当理事の先生方、ご苦労様でした。
- ② 日本臨床泌尿器科医会第20回総会・講演会・全国審査委員懇談会を第105回日本泌尿器科学会総会時(平成29年4月23日・鹿児島)にて行います。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。尚、本学会を主催されます中川昌之教授には弊会の為色々ご尽力、ご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。
- ③ 日本臨床泌尿器科医会創立20周年記念式典・講演会を平成29年6月3日(土)16時30分より明治記念会館(東京都港区)で開催すべく、準備を進めております。この会報と同封させていただきましたご案内状をご参照いただき、一人でも多くの会員の皆様の参加を希望しております。
- ④ 日本臨床泌尿器科医会神奈川支部代表世話人(日本臨床泌尿器科医会常務理事)増田光伸先生が主催(日本医師会共催)されました「平成28年度医学生、研修医をサポートするための会～輝く医師に育ちたい、育てたい～」を、平成29年1月28日に横浜市のホテルプラムで開催され、盛会裡に終了しましたことをご報告いたします。
- ⑤ 日本医師会の横倉義武会長ならびに多数の医師会役員の先生方もご出席されます年2回開催の日本臨床分科医会の代表者会議には、弊会からも宮崎良春会長にご出席いただき日本医師会および他科との連携を密にとりいただいております。また、日本医師会の横倉義武会長は2017年10月より世界医師会の会長にご就任なされます。この場をお借りしてお祝い申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜ればと願っております。

また、今後も会員の先生方にお役に立つ情報がありましたら、ホームページ等でお知らせできればと思っております。本年も引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

# 日本臨床泌尿器科医会 創立二十周年記念行事のお知らせ

日本臨床泌尿器科医会は平成29年で創立二十年目を迎えます。その間学会での卒後教育プログラムを担当するほか、全国審査委員懇談会、保険診療の手引き、臨床検討会など活躍の場を広げてまいりました。

この度下記の通り創立二十周年記念式典・講演会を開催することとなりました。日常の一般泌尿器科診療の質と社会的評価の向上、保険診療の充実と経済的社会的基盤の強化、充実を目的に活動する全国組織の医会の記念式典に多くの先生方の参集をお願い申し上げます。

## 記

日本臨床泌尿器科医会創立二十周年記念式典・講演会

日 時：平成29年6月3日（土）午後4：30～

場 所：明治記念館 2階 富士の間

東京都港区元赤坂2-2-23

電話 03-3403-1171（代表）

参加費：1万円

内 容：1.学術講演会

「間質性膀胱炎の病態－診断・治療への展開」

東京大学大学院医学系研究科泌尿器科学 教授 本間 之夫先生

1.記念式典

会長挨拶 日本臨床泌尿器科医会 会長 宮崎 良春

来賓挨拶 公益社団法人日本医師会 会長 横倉 義武先生

功労者表彰

1.記念講演

「泌尿器科医療の現状と今後の展望」

一般社団法人日本泌尿器科学会 理事長 藤澤 正人先生

1.祝賀会

来賓挨拶 参議院議員 武 見 敬 三先生（予定）

参議院議員 羽生田 たかし先生（予定）

参議院議員 自 見 はなこ先生（予定）

以上

## 日本臨床泌尿器科医会 第20回総会・講演会開催のご案内

下記の要領にて会議を開催いたします。講演会は、内藤誠二先生をお招きの予定をしております。関係各位が万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

### 記

日時：平成29年4月23日（日）13：20～

場所：城山観光ホテル 2F アメジストホール鳳凰

第105回日本泌尿器科学会総会を主催されます会長 中川昌之先生のご厚意により総会会場を拝借しております。

#### ■ 第20回総会 13：20～14：20

議案 第1号議案：議長の選出

第2号議案：平成28年度事業報告

第3号議案：平成28年度会計報告

第4号議案：役員について

第5号議案：平成29年度事業計画案

第6号議案：平成29年予算案

第7号議案：その他

日本臨床泌尿器科医会・第20回総会のご案内の往復葉書を3月上旬にお送りさせていただきます。第20回総会に出席される方も欠席される方も出欠ハガキを投函下さい。また、欠席されます方は、必ず委任状に署名・捺印をお願い致します。

#### ■ 特別講演会 14：20～15：20

演者：SIU理事長、九州大学名誉教授、原三信病院名誉院長 内藤 誠二 先生

以上

# 日本臨床泌尿器科医会 平成29年度事業計画案

## \* 会報発行

1月 会報第51号発行  
8月 会報第52号発行

## \* 総 会

4月23日 第20回日本臨床泌尿器科医会総会(鹿児島)  
日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会(鹿児島)  
8月頃 第106回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(京都)

## \* 会長講演

2月9日 西宮市泌尿器科医会総会

## \* 日本臨床泌尿器科医会20周年記念式典

6月3日 明治神宮記念館

## \* 全国保険審査委員懇談会

3月 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会(東京)  
4月23日 第32回全国保険審査委員懇談会(仙台)

## \* 日本臨床分科医会

1月 第17回代表者会議  
8月 第18回代表者会議

## \* 保険教育プログラム

4月23日 総会(鹿児島)  
9月15日～18日 東部総会(東京)  
11月24日～27日 中部総会(大阪)  
11月 9日～12日 西日本総会(大分)

## \* 理事会

2月 5日 第1回理事会(大阪)  
4月23日 第2回理事会(鹿児島)  
6月 3日 第3回理事会(東京)

## \* その他

1月28日 「医学生・研修医をサポートするための会」(神奈川)



## ◇ 事務局より ◇

- \* 会報第51号をお届けいたします。
- ※ 平成29年度年会費及び過年度年会費未納の会員は、至急お振込下さい。  
年会費 開業医・開設者 20,000円  
勤務医・その他 3,000円
- ※ ホームページよりログインして、ご自身のマイページをご確認下さい。
- ※ 入会ご希望の方は、ホームページより入会申し込み書をダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 転勤・転居・住所表記等の登録事項の変更等がございましたら、事務局まで変更届をFAXもしくはE-mailでお知らせ下さい。変更届は、会報やホームページよりダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 個人情報の漏洩には、細心の注意を払いデータ管理をしております。

発行日／平成29年1月28日

発行／日本臨床泌尿器科医会

〒662-0832

兵庫県西宮市甲風園1丁目10-11

秋山泌尿器科内

TEL:0798-65-0854 FAX:0798-65-0863

E-mail: akiyamahinyoukika@cosmos.ocn.ne.jp

発行責任者／宮崎 良春

製作／株式会社プランニング フォレスト

大森 啓次